

【岡山中央中学校】

○浴衣の着付け体験

地域の和装専門家の方々を招き、「浴衣着付け教室」を開催した。生徒たちは専門家の丁寧な指導のもと、実際に浴衣に袖を通し、畳み方や美しい所作を体験的に学んだ。当初は「難しい」と感じていた着付けも、温かい交流を通じて次第に身近なものとなった。この活動は、生徒たちが日本文化の良さを再発見するだけでなく、地域の方と直接触れ合う貴重な世代間交流の場となった。



○OPTC フェスティバル

岡山中央中学校 PTA と連携した体験型の「ふれあい講座」を開催した。本活動では、PTA 役員・実行委員を中心に、地域で活動されている方々へ講師を依頼した。その結果、運動系、作品系、ゲーム系、実践系など、バラエティ豊かな計 18 もの講座を開設することができた。生徒たちが自身の興味に合わせて講座を選択する形式をとったことで、主体的な学びの場となった。写真はサッカー講座の場面である。



○岡山中央中学校だっぴ

中学2年生を対象にキャリア教育の一環として「だっぴ」を実施する予定であったが、インフルエンザの流行により残念ながら実施できなかった。しかし、事前に行った「プレだっぴ」では、大学生のファシリテーターが進行を担当し、地域の方が補助に入る形で、班ごとに様々なテーマについて意見交換を行った。自分の考えや過去の経験などについて少人数で対話することを通して、生徒は新たな発見を得たり、将来について真剣に考えたりする機会をもつことができた。



○登校見守り活動とあいさつ運動

今年度は、PTA 学年部の保護者や地域の方々の協力で、登校時の見守りと「あいさつ運動」を年 6 回実施した。登校してくる生徒の様子は、余裕をもって歩く生徒や終了間際に駆け込む生徒など様々であったが、保護者の方々からの温かい声かけに対し、笑顔で挨拶を返す生徒たちの姿が非常に印象的であった。



【岡山中央小学校】

○読み聞かせ(毎月2回 計15回)

朝学習の時間を使って、学校支援ボランティアが各クラスに入って、本の読み聞かせを行った。

○掃除支援(每学期1回 年3回)

参観授業前の児童の掃除の時間に合わせて、学校支援ボランティアが全保護者に呼び掛けて窓ふき清掃を行った。また、夏休み中に親子でトイレ掃除を行った。活動後にはスイカ割りを楽しんだ。

○不登校児童支援

各地区の主任児童委員の方々が、定期的に校内を参観し、困り感のある児童に声をかけた。

○花植え支援

学校支援ボランティアが栽培委員会の児童と一緒にパンジーを植えた。

○ふれあい祭り

児童や地域の方々のステージ発表、飲食店の出店、ゲームのできるブースの設置など、大掛かりな祭りが本校校庭で行われた。子どもたちは、このイベントをとっても楽しみにしており、毎年、たくさんの子どもたちや地域の方でにぎわっている。

○宵灯明

児童が色塗りをした絵を蠟引きして灯明を作り、その灯りの中で、読み聞かせをした。子どもたちはお話の世界に引き込まれていた。

○なぞとき大会

土曜日に本校校舎を使って、なぞとき大会を行った。学校支援ボランティアが中心になり、本校オリジナルの問題を準備した。子どもたちは、友達と協力しながら校内を回ってなぞときを楽しんだ。

○登下校見守り

一斉下校の金曜日に合わせて、毎月1回の下校時の見守り活動を地域の方が行っている。

○特別支援教育に係る指導

発達障害の専門家にご協力いただき、本校の特別支援学級の児童を中心に授業参観を実施している。困り感のある児童に対する指導について、ご指導いただいた。



【南方岡山中央認定こども園】

○絵本読み聞かせ(0～5歳児 年6回)

0～5歳児が各学年2回読み聞かせをしていただいた。季節や行事、年齢の興味や発達を考慮して、いろいろな作品を提供してもらうことができた。



○新年にこにこ会(5歳児)

地域の方と一緒に、昔遊びを楽しんだ。けん玉・こま・かるた・お手玉・おりがみのコーナーで、丁寧に関わってもらい興味を持って取り組めた。またバイオリンの体験や演奏を聴いたりした。

歌を歌ってお礼をした。



○運動あそび(年3回 5歳児)

楽しく運動遊びができるように、興味付けから丁寧に段階を追って教えていただく。ボール・マット・なわとびをするための体の動きや覚え、挑戦しようとする姿が見られた。職員の学びにもなった。

